



7月のほけんだより

令和4年7月発行
はごろも保育園

日に日に日ざしが強くなり、心弾む夏がやってきました。夏は、暑さのために食欲がなくなったり、体力を消耗したり、体の調子を崩しやすい時期です。元気そうに見えても、体は意外と疲れています。本園では、先月も、アデノウイルス感染症や腸炎に罹ったお子さんがいました。十分な休息をとりながら、元気に夏を過ごしましょう。

アデノウイルス感染症

感染すると、高熱が続き、喉の腫れや痛み（咽頭炎）が見られたり、目やにや目の充血（結膜炎）が見られます。

よく見られる症状は、咽頭炎です。結膜炎も加われば、咽頭結膜熱（プール熱）といえます。

プールで感染することが多いのですが、プールに入らなくても感染します。

夏に流行しますが、冬にもみられます。“喉の痛みと頑固な発熱”が特徴です。

アデノウイルスには、胃腸炎や肺炎、膀胱炎を起こすなど、50種類くらいのタイプがあります。

*主な症状

①発熱 : 38~40度くらいの熱が4~5日続きます。1週間以上続くこともあります。

②咽頭炎 : 咽頭~扁桃の腫れがひどく、真っ赤になります。喉の痛みも強く、食欲が落ちます。

③眼症状 : 結膜炎による目の炎症が見られます。目が痛くなったり、かゆくなったり

目やにが見られるようになります。通常、片目から始まり両目に広がります。

*こんな時は、早目にもう一度、診察を受けましょう

①前の日と比べてどんどん悪くなってきたと感じるとき

②いくら元気があっても、38度以上の熱が3日以上続くとき

*登園のめやす

主要症状が消退した後2日を経過するまで登園停止になります。医師の指示に従い、許可を得てから登園しましょう。登園時、登園許可証明書（保護者記入）の提出をお願いします。



気をつけよう！ 夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な病気と主な症状を挙げてみました。気になる症状がみられましたらすぐに病院へ行きましょう。

*ヘルパンギーナ

原因: コクサッキーウイルスA群などに飛沫感染することで発症。

症状: 高熱と喉の痛みが特徴。特に喉は、水泡や潰瘍ができるため、かなり痛みます。

食事や水分がとりにくく、乳児はミルクが飲めないほどです。

対応: 喉の痛みは、熱が下がってからも続くことがあります。熱や喉の痛みがあるうちは、安静に過ごしましょう。

のどごしと消化のよい食事にし、こまめに水分補給をして脱水に注意しましょう。



*手足口病

原因: コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。

症状: 手足や口の中に水泡や赤い湿疹が出るのが特徴で、膝やお尻に出ることもあります。痛みやかゆみを

伴い、発熱したりすることもあります。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎など

の合併症を起こしたりすることがあるので注意が必要です。頭痛や嘔吐を伴う発熱があるときは、すぐに受診しましょう。

対応: 口の中の水泡が痛むときは、のどごしのよい食事にしましょう。治った後も、2~4週間くらいは便にウイルスがいます。

おむつ替えの後は、しっかり手を洗いましょう。

